多賀中学校だより

令和５年12月22日
第９号
校長　山本　順

学校教育目標　**豊かな人間性を持ち、たくましく生き抜く力をそなえた生徒の育成**
～ひとすじに学び、たくましく鍛え、すこやかに励む～

校訓　醇厚（じゅんこう）　剛健（ごうけん）　叡智（えいち）　不屈（ふくつ）

飛躍の年に

令和５年も残すところわずかになりました。１年を振り返る中で、それぞれが４月当初、新学年になり「〇〇を頑張ろう」と思ったことを覚えていますか？そして、できましたか？２学期の締めくくりとして、一度じっくり振り返ってみてください。

来年は令和６年（２０２４年）で、十二支でいうと「辰（たつ）」、辰年です。中国では「頭はラクダ、角はシカ、目は鬼、耳は牛、首筋はヘビ、腹はみずち(蛇の様な架空の生き物)、うろこは魚、爪は鷹、掌はトラ」に似ているとされていました。なんだかわかったようなわからないような例えですが、試しにこの九つの動物を組み合わせて描いてみると、なるほど、なんとなく龍らしき絵が出来上がります。歴史に学ぶということで、過去の辰年にはどんなことがあったのか調べてみました。

＜1964年＞
アジア初となる東京オリンピックの開催。
世界初の高速鉄道「東海道新幹線」が開業。

＜1988年＞
青函トンネル、東京ドーム、瀬戸大橋など大型建造物の竣工。

＜2000年＞
2000円札の発行。

＜2012年＞
東京スカイツリーの開業。

2024年、辰年のキーワードは「変革（転機）」や「激動」です。これまでの努力が実って夢が叶いやすい年と言い換えることができます。なかには努力が成果につながらないこともあるかもしれません。しかし、くさらずに努力を続ければ、必ずや着実に力をつけ、次につながる年になると思います。

2024年も本年同様、しっかり頑張りましょう。

最後になりましたが、新しく迎える令和６年がみんなにとって幸多き一年となるよう祈念いたします。

☆12/29（金）～1/3（水）学校閉校
1/9 (火)3学期始業式
12 (金)3年第６回実力テスト
生徒会専門委員会
2年標準学力検査
1年冬休み明けテスト
13 (土)県吹奏楽ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ
15 (月)2年生カルタ大会
16 (火)1年生カルタ大会
18 (木)1年標準学力検査(3教科)
19 (金)1年標準学力検査(2教科)
21 (日)近畿中学校冬季体育大会スキー
27 (土)吹奏楽中部日本重奏ｺﾝﾃｽﾄ

２月　（予定）
2/1 (木)県内私立高校入試
新入生説明会
2 (金)県内私立高校入試
6 (火)県内私立高校合格発表
7 (水)県立推薦・特色選抜入試
スポーツ・文化芸術推薦選抜入試
8 (木)スポーツ・文化芸術推薦選抜入試
9 (金)生徒会専門委員会
14 (水)県立推薦･特色･ｽﾎﾟｰﾂ･文化芸術推薦合格発表
15 (木)3年　学年末テスト(1日目)
16 (金)3年　学年末テスト(2日目)
2年人権学習
22 (金)3年　性教育講座⑤⑥
29 (木)12年　学年末テスト(1日目)

３月　（予定）
3/1 (金)12年　学年末テスト(2日目)
6 (水)県立一般入試
7 (木)県立一般入試（実技検査）
生徒会専門委員会
12 (火)第56回卒業証書授与式
13 (水)県立高校合格発表
22 (金)修了式

※離任式はありません。

2年生　性教育講演会

12月１日（金）に２年生は助産師の斉藤智孝先生に「いのちのつながり、人のつながり～自分の体をよく知って、自分を大切にすることとは～」というテーマで講演をしていただきました。

命の誕生や妊娠・出産の話、正しい性の理解、かけがえのない命を大切にしていくことについて丁寧に話をしていただきました。生徒たちは後半、妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験をしました。

「税についての作文」表彰式

前回号で紹介しました全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する令和５年度中学生の「税についての作文」の募集があり、3年の森彩瑠さんが「税と未来」という作文で彦根税務署長賞、藤本晃嘉さんが「税金を学んで」という作文で多賀町長賞を受賞しました。12月12日（火）に表彰式があり、彦根税務署長、山中教育長から表彰を受けました。

ＰＴＡ資源回収
ありがとうございました。

12月2日（土）、ＰＴＡ主催の資源回収が実施されました。早朝より多くの方にご協力いただきました。

ありがとうございました。

校長先生のお話

日本漢字能力検定協会主催の2023年の世相を一字で表す「今年の漢字」には『税（「ぜい」、または「みつぎ」）』という字が選ばれました。穀物を表すノギ辺に「脱」脱ぐの右側の字から成り立ってます。「身につけたモノから抜き取る」という意味があります。社会の歴史の勉強ですね。奈良時代の租（そ）庸（よう）調（ちょう）って覚えていますか？あれも「税」でしたね。

減税とか増税とか、ふるさと納税とかって耳にしますが、税金って無かったらどうなるでしょうって考えたことありますか。「税金は国民の義務です」って憲法（３０条）に書かれていますが、無かったら、たくさんお金が手元に残って、美味しいモン食べられると思っている人はいませんか。そうはなりません。むしろ、大変な世の中になります。救急車も有料になりますし、信号だって道路につきません。君たちが無償でいただいている教科書だって有料になります。多賀町だって道はぼろぼろ穴だらけで、ゴミの収集車は来ませんから、あちこちゴミだらけ、冬は冬で「道路の除雪は自分でやれや」となります。今では、当たり前のサービスが受けられないわけです。

日本の所得税の税率は５～55%で収入によって変わります。大谷翔平選手の年俸が話題にされていますが、カリフォルニアがアメリカー高いと言われています。連邦税と州税を合わせて50.3%です。大谷君クラスの収入になると、税率は日本の方が高いんです。まっ、少しでも行政のサービスを豊かにして、減税をしていただくというのは、政治家の仕事ですからお任せしときましょう。左に紹介したように「税の作文」の表彰式で、税務署の署長さんとお話をした日に、今年の漢字が発表され、ふと、こんなことを思ったので書いてみました。今後、働く上でいろんな方法で控除を受けるということを勉強してください。ふるさと納税のように節税をしながら、税金を納め、多賀町を住みよい町にしていきましょう。